

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月11日

上場会社名 株式会社アップガレージグループ 上場取引所 東  
 コード番号 7134 URL <https://www.upgarage-g.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 河野 映彦  
 問合せ先責任者（役職名） 専務執行役員管理本部長（氏名） 大口 智文 TEL 045-988-5777  
 半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	6,395	15.4	319	21.6	352	28.5	241	36.7
2024年3月期中間期	5,542	8.0	262	△10.0	274	△10.8	176	△6.7

（注）包括利益 2025年3月期中間期 236百万円（35.1%） 2024年3月期中間期 174百万円（△6.3%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	30.52	30.21
2024年3月期中間期	22.37	22.12

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	5,865	4,058	69.2
2024年3月期	6,193	4,015	64.8

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 4,058百万円 2024年3月期 4,015百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	24.50	24.50
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	29.50	29.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有  
 2025年3月期期末配当金の内訳 普通配当27円00銭 記念配当2円50銭

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	7.5	1,100	14.0	1,112	14.0	711	11.3	90.09

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	7,902,000株	2024年3月期	7,899,900株
2025年3月期中間期	207株	2024年3月期	207株
2025年3月期中間期	7,900,706株	2024年3月期中間期	7,884,091株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
（1）当中間期の経営成績の概況	2
（2）当中間期の財政状態の概況	3
（3）キャッシュ・フローに関する説明	4
（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
（1）中間連結貸借対照表	5
（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
（中間連結損益計算書）	7
中間連結会計期間	7
（中間連結包括利益計算書）	8
中間連結会計期間	8
（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
（4）中間連結財務諸表に関する注記事項	10
（継続企業の前提に関する注記）	10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	10
（セグメント情報等の注記）	10

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2024年4月1日～2024年9月30日)におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化や雇用・所得環境の改善等により景気は緩やかな回復が見られるものの、インフレや円安進行による物価上昇等が懸念され、先行きが不透明な状況が続きました。

国内の自動車関連市場に関しては、メーカーの認証不正問題に伴う生産、出荷停止の影響により、新車登録台数は、前年同期を下回る結果となりました。中古車登録台数については、前年同期を上回る結果となりました。

こうした市場環境の中、リユース業態においては前期に引き続き、原材料費や燃料費等の高騰による物価高や新品カー用品・バイク用品の値上げが続いている中で、消費者の中古用品やリユース市場に対する旺盛な需要は継続し、買取及び販売が好調に推移いたしました。

直営店舗においては、買取及び販売のマーケティング強化と取付サービスの拡充等によって利益率の改善を進めたことで、来店客数が順調に増加し、中古タイヤホイールの販売が前年同期比で大きく増加いたしました。また、ECサイトで購入した商品を全国のアップガレージ店舗で受け取ることができる新サービスを開始いたしました。実店舗とお客様を繋ぐOMO戦略の拡大とサービスの利便性の向上を図ることで買取、販売件数のみならず、取付の予約件数も順調に増加しております。

新業態の中古自転車の買取・販売ブランドの「アップガレージ サイクルズ」及び中古カスタムカーの販売を行うブランドの「アップガレージ カーズ」も、新たな顧客層の開拓に寄与いたしました。「アップガレージ サイクルズ」においては、女性やお子様連れのお客様を中心にご来店頂いており、特に子供用自転車の買取販売のニーズが高いことから、新たに中古のチャイルドシートやベビーカーの取扱いも開始いたしました。

これらの施策により、直営店舗における既存店売上高の対前年同期比は104.0%となりました。

フランチャイズ関連についても、新規出店及びフランチャイズ店舗の増収によるロイヤリティ、EC手数料、その他付帯収入が順調に増加いたしました。

この結果、リユース業態(直営店舗運営、フランチャイズシステムの運営、ECサイト運営)による収入は3,702百万円(前年同期比7.2%増)となりました。

当中間連結会計期間末時点の直営店及びフランチャイズ店の業態別の合計店舗数は、246店舗となり、その内訳は、「アップガレージ」139店舗、「アップガレージ ライダース」79店舗、「アップガレージ ホイールズ」12店舗、「アップガレージ ツールズ」2店舗、「パーツまるごとクルマ&バイク買取団」5店舗、「アップガレージ サイクルズ」8店舗、「アップガレージ カーズ」1店舗となっております。なお、直営店及びフランチャイズ店の拠点数の合計は176拠点となっております。

当中間連結会計期間末時点の各業態別の店舗数は次のとおりであります。

(単位：店)

	アップガレージ	アップガレージ ライダース	アップガレージ ホイールズ	専門店ブランド	合計
直営店	26	17	4	14	61
F C店	112	62	8	2	184
海外	1	—	—	—	1
合計	139	79	12	16	246

(注) 専門店ブランド内訳：「アップガレージ ツールズ」(直営店：2)、「パーツまるごとクルマ&バイク買取団」(直営店：3、F C店：2)「アップガレージ サイクルズ」(直営店：8)、「アップガレージ カーズ」(直営店：1)

流通卸売業態においては、前期から引き続きタイヤメーカーや各メーカーの値上げによる消費者の買い控え等の懸念があるものの、「ネクスリンク」(受発注プラットフォーム)においては中古車市場の好調に伴う既存取引先の受注増加及び新規取引先の拡大により好調に推移いたしました。また、「タイヤ流通センター」も、加盟店の増加により堅調に推移いたしました。

この結果、流通卸売業態による収入は2,666百万円(前年同期比28.4%増)となりました。

当中間連結会計期間末時点の「タイヤ流通センター」ブランドの直営店及びフランチャイズ店の加盟店合計は193店舗となっております。

自動車関連業界に専門特化した人材紹介サービス「BoonBoonJob(ブーンブーンジョブ)」も、企業の採用活動活性化に伴い契約企業及び登録者数が共に増加いたしました。

この結果、その他の収入は26百万円(前年同期比135.1%増)となりました。

販売費及び一般管理費としては、全社的にコスト削減に努めたものの、ベースアップや福利厚生・人事制度改革に伴う人件費等の増加、新規出店や既存店舗の改修、設備投資及びアップガレージ25周年関連のキャンペーン等があったことにより前年同期比で大きく増加いたしました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は売上高6,395百万円(前年同期比15.4%増)、営業利益319百万円(前年同期比21.6%増)、経常利益352百万円(前年同期比28.5%増)、親会社株主に帰属する中間純利益241百万円(前年同期比36.7%増)となりました。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前連結会計期間末	当中間連結会計期間末	増減	増減率(%)
総資産	6,193	5,865	△327	△5.3
負債	2,177	1,806	△371	△17.0
純資産	4,015	4,058	43	1.1

### (資産)

流動資産は3,660百万円となり、前連結会計年度末に比べ478百万円減少いたしました。これは主に、商品が175百万円増加した一方で、法人税等の税金納付及び配当金支払等によって現金及び預金が666百万円、売掛金が17百万円減少したことによるものであります。

固定資産は2,204百万円となり、前連結会計年度末に比べ150百万円増加いたしました。これは主に、新規出店等による設備投資に伴い有形固定資産が109百万円、ソフトウェア開発に伴い無形固定資産が40百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は5,865百万円となり、前連結会計年度末に比べ327百万円減少いたしました。

### (負債)

流動負債は1,375百万円となり、前連結会計年度末に比べ415百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金150百万円、その他流動負債が119百万円、法人税等の税金納付によって未払法人税等が86百万円、買掛金が55百万円減少したことによるものであります。

固定負債は430百万円となり、前連結会計年度末に比べ43百万円増加いたしました。これは主に、リース債務が41百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,806百万円となり、前連結会計年度末に比べ371百万円減少いたしました。

### (純資産)

純資産合計は4,058百万円となり、前連結会計年度末に比べ43百万円増加いたしました。これは主に、剰余金の配当193百万円、親会社株主に帰属する中間純利益241百万円の計上によるものであります。

（3）キャッシュ・フローに関する説明

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ666百万円減少し、1,610百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、79百万円の支出（前年同期は241百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益が352百万円（前年同期は274百万円）、減価償却費が137百万円（前年同期は114百万円）あった一方で、棚卸資産の増加額が175百万円（前年同期は77百万円）、法人税等の支払額が164百万円（前年同期は140百万円）あったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、236百万円の支出（前年同期は231百万円の支出）となりました。これは主に、店舗の新規出店等の設備投資及び既存店舗の改修に伴う有形固定資産の取得による支出が119百万円（前年同期は136百万円）、システム開発に伴う無形固定資産の取得による支出が115百万円（前年同期は104百万円）あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、345百万円の支出（前年同期は93百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の純減額が150百万円（前年同期は純増額が100百万円）、配当金の支払額が193百万円（前年同期は165百万円）あったことによるものであります。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績は、概ね計画通りに推移しており、2024年5月13日に公表いたしました「2024年3月期決算短信」における「2025年3月期の連結業績予想」から変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,276,706	1,610,672
売掛金	844,774	827,729
商品	837,054	1,012,086
その他	180,279	210,145
流動資産合計	4,138,814	3,660,634
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,115,802	1,172,268
減価償却累計額	△506,371	△536,053
建物及び構築物（純額）	609,430	636,214
機械装置及び運搬具	323,381	340,238
減価償却累計額	△211,457	△224,304
機械装置及び運搬具（純額）	111,923	115,933
工具、器具及び備品	407,824	456,647
減価償却累計額	△336,096	△356,353
工具、器具及び備品（純額）	71,728	100,294
土地	179,082	179,082
リース資産	58,900	111,533
減価償却累計額	△31,719	△34,100
リース資産（純額）	27,180	77,433
有形固定資産合計	999,345	1,108,958
無形固定資産		
ソフトウェア	400,284	469,039
その他	101,353	73,146
無形固定資産合計	501,637	542,186
投資その他の資産		
投資有価証券	19,374	19,149
長期貸付金	154,892	151,770
繰延税金資産	5,092	1,076
敷金及び保証金	347,945	352,840
その他	26,007	28,796
投資その他の資産合計	553,312	553,634
固定資産合計	2,054,295	2,204,779
資産合計	6,193,109	5,865,413

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	620,801	565,504
短期借入金	350,000	200,000
リース債務	5,203	14,246
未払金	175,940	168,506
未払法人税等	213,292	126,775
賞与引当金	28,475	23,360
その他	397,230	277,479
流動負債合計	1,790,944	1,375,871
固定負債		
リース債務	24,760	65,930
長期預り保証金	173,920	175,820
資産除去債務	188,277	189,045
固定負債合計	386,958	430,796
負債合計	2,177,903	1,806,668
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	523,180	523,495
資本剰余金	890,405	890,720
利益剰余金	2,604,011	2,651,564
自己株式	△122	△122
株主資本合計	4,017,473	4,065,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,501	3,345
為替換算調整勘定	△5,768	△10,256
その他の包括利益累計額合計	△2,267	△6,911
純資産合計	4,015,206	4,058,745
負債純資産合計	6,193,109	5,865,413



（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）
売上高	5,542,042	6,395,964
売上原価	3,269,307	3,871,392
売上総利益	2,272,735	2,524,571
販売費及び一般管理費	2,010,173	2,205,172
営業利益	262,561	319,398
営業外収益		
受取利息及び配当金	884	1,073
受取手数料	4,158	5,110
受取保険金	5,632	6,482
為替差益	4,237	22,994
その他	3,892	5,520
営業外収益合計	18,805	41,180
営業外費用		
支払利息	1,179	848
支払補償費	5,329	6,525
その他	559	778
営業外費用合計	7,068	8,153
経常利益	274,299	352,426
特別利益		
固定資産売却益	425	—
特別利益合計	425	—
特別損失		
固定資産除却損	—	0
リース解約損	99	—
特別損失合計	99	0
税金等調整前中間純利益	274,625	352,426
法人税、住民税及び事業税	66,836	107,246
法人税等調整額	31,437	4,083
法人税等合計	98,273	111,330
中間純利益	176,352	241,095
親会社株主に帰属する中間純利益	176,352	241,095

## (中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	176,352	241,095
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	795	△156
為替換算調整勘定	△2,155	△4,487
その他の包括利益合計	△1,360	△4,644
中間包括利益	174,992	236,451
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	174,992	236,451
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	274,625	352,426
減価償却費	114,109	137,366
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,878	△5,114
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△7,688	—
受取利息及び受取配当金	△884	△1,073
支払利息	1,179	848
固定資産売却損益(△は益)	△425	—
固定資産除却損	—	0
リース解約損	99	—
売上債権の増減額(△は増加)	43,967	17,044
未収入金の増減額(△は増加)	△1,224	△16,002
棚卸資産の増減額(△は増加)	△77,699	△175,032
仕入債務の増減額(△は減少)	△66,201	△55,297
未払金の増減額(△は減少)	12,662	△7,425
未払費用の増減額(△は減少)	75,348	△962
未払消費税等の増減額(△は減少)	△22,429	△47,586
預り保証金の増減額(△は減少)	△700	1,900
その他	33,363	△116,817
小計	381,979	84,274
利息及び配当金の受取額	846	1,034
利息の支払額	△1,206	△804
法人税等の支払額	△140,298	△164,026
営業活動によるキャッシュ・フロー	241,320	△79,521
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△136,814	△119,132
有形固定資産の売却による収入	8,828	—
無形固定資産の取得による支出	△104,122	△115,494
貸付金の回収による収入	3,618	3,099
敷金及び保証金の差入による支出	△3,348	△5,114
敷金及び保証金の回収による収入	176	401
投資活動によるキャッシュ・フロー	△231,663	△236,239
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	△150,000
長期借入金の返済による支出	△21,703	—
リース債務の返済による支出	△11,975	△2,347
ストックオプションの行使による収入	5,130	630
配当金の支払額	△165,177	△193,359
財務活動によるキャッシュ・フロー	△93,725	△345,077
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,295	△5,194
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△86,364	△666,033
現金及び現金同等物の期首残高	1,858,587	2,276,706
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,772,223	1,610,672

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

当社グループはカー&バイク用品関連の買取、販売及びその付随業務からなる単一セグメントであるため、記載を省略しております。